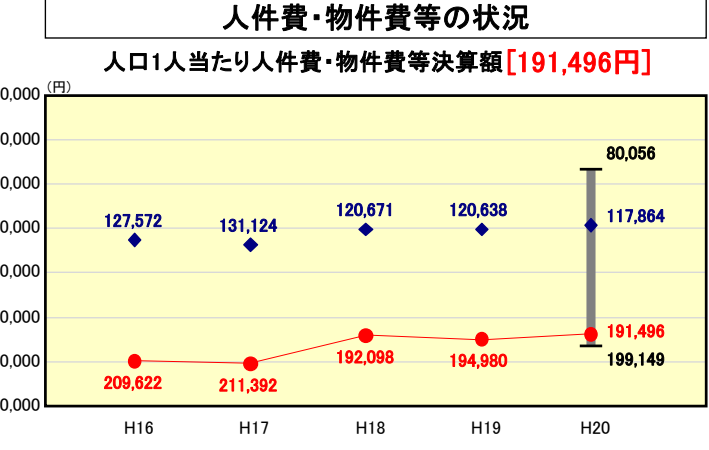
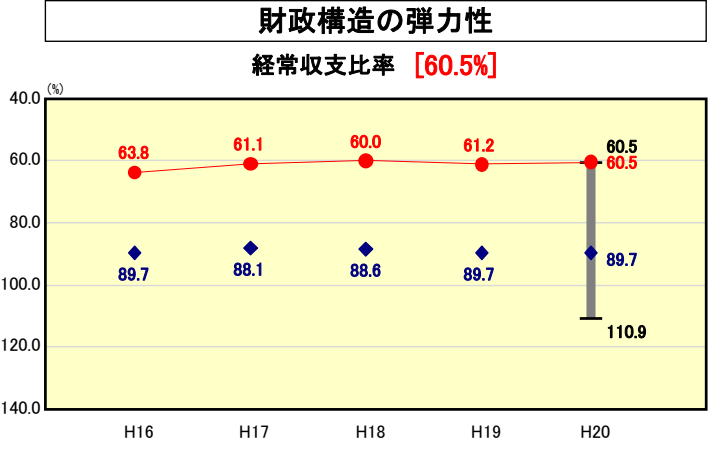
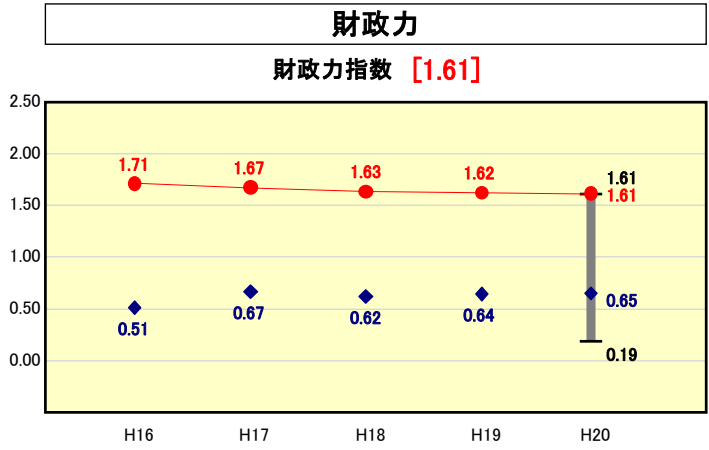


市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)



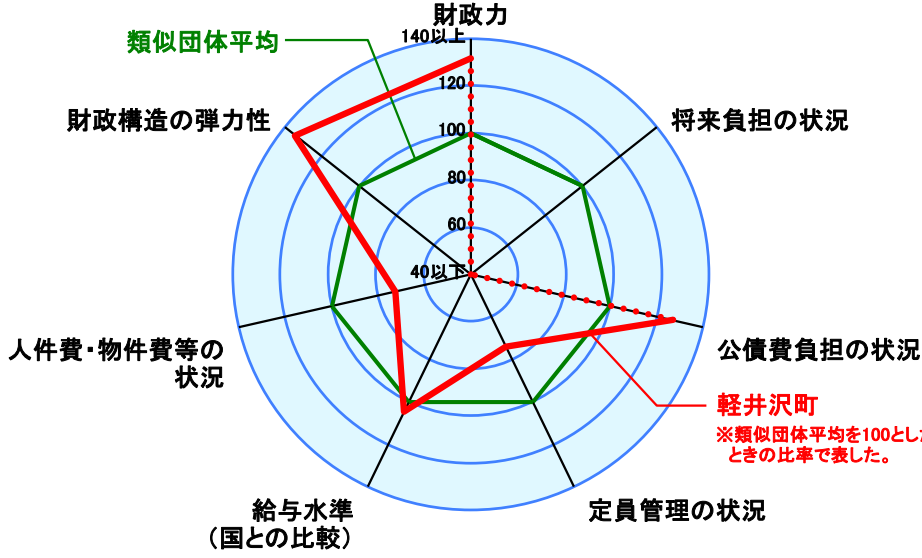
※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

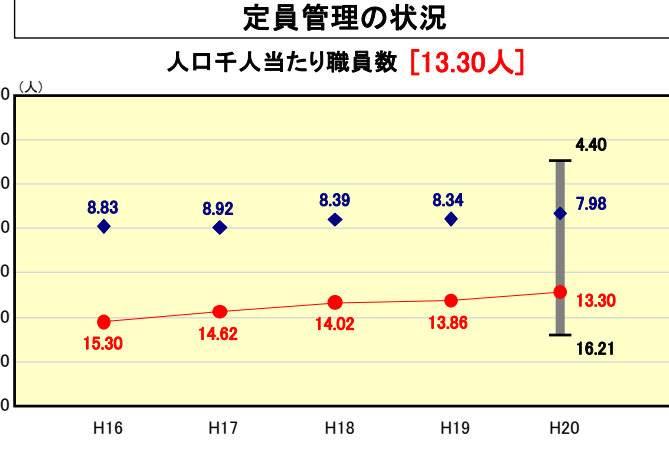
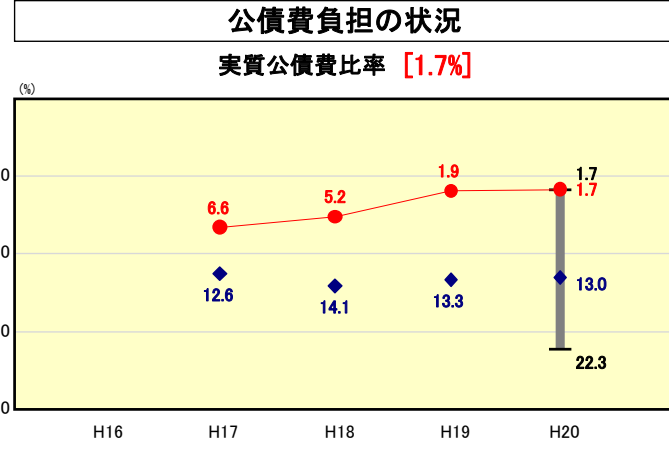
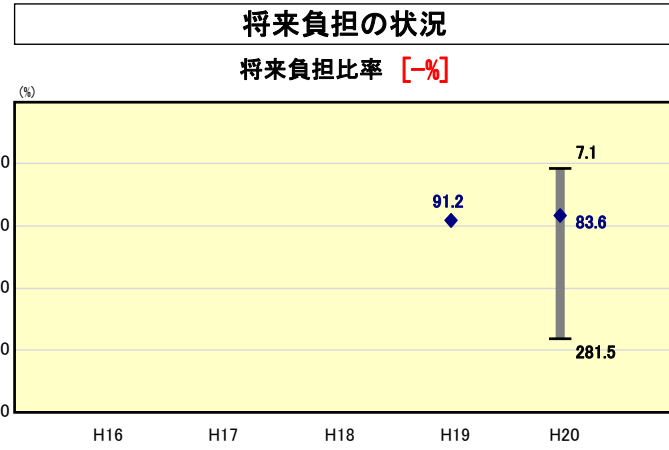
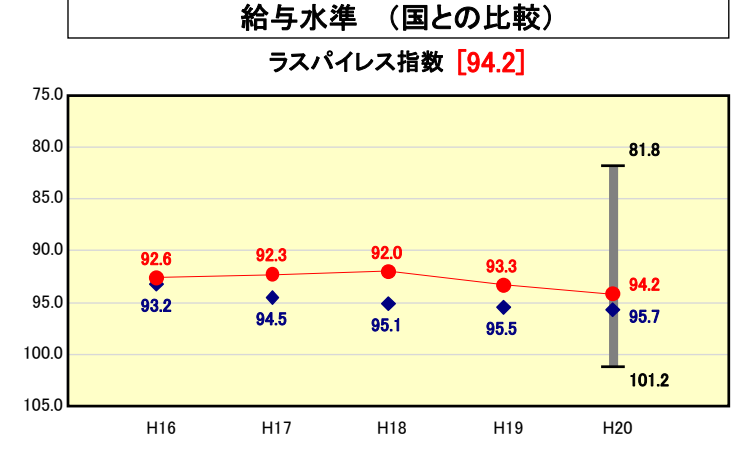
○財政力指数
 当町は類似団体を上回っているが、これは普通交付税の算定により求められた数値で、基準財政収入額算定には、1万4千戸を超える別荘の固定資産税等を含み算定し、基準財政需要額は約1万7千人の町人口で算定された数値によるものである。しかし、当町は保健休養地として別荘・常住者及び多くの観光客等を含め各種の事業を実施しているため、数字とは逆に厳しい財政状況である。

○経常収支比率
 各経費個々の経常収支比率はほぼ前年度と同程度であるが、下水道建設工事基金からの基金繰入金が増加したことにより、一般財源充当額が減少したため、全体としてはやや前年度を下回った。扶助費については、保健福祉複合施設「木もれ陽の里」の活用により健康増進、予防に重点をおいた施策を推進し、抑制を図る。物件費については、人件費から委託等の物件費へのシフト等により増加傾向にあるが、民間委託によって競争原理によるコスト削減や、電子化による事務の効率化を徹底させ、経費の削減に努めたい。

人口	18,951	人(H21.3.31現在)
面積	156.05	km ²
標準財政規模	7,878,541	千円
歳入総額	12,712,942	千円
歳出総額	11,593,672	千円
実質収支	951,555	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
 ※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



○実質公債費比率
 過去からの起債抑制策により、類似団体平均を下回っている。今後とも住民ニーズを的確に把握した事業の実施により、引き続き起債の借入を抑制しながら適正な財政運営に努める。

○人口千人当たり職員数
 保健休養地としての特殊事情により、夏期の滞在人口が冬期の滞在人口に比べ何倍にもなることから、年間を通した行政需要に対応する必要性から類似団体平均を上回っている。平成17年度に第二次適正化計画を策定し、退職補充については業務委託や、臨時的な任用により技能職員の採用を抑制している。